



農村伝道神学校後援会だより NO. 110

『農伝からの歩を振り返って』

八街西伝道所牧師（14回生）植西 光雄

去る7月の3日と4日、久しぶりに農伝の同窓会に出席しました。まわりの木がとても大きくなっていたので驚きました。私が卒業した1963年に、教会学校の生徒の祖父に手伝ってもらって、山の渋柿に甘柿を接木したことを話しました。でもほとんど残ってなくて、わずかに食堂から礼拝堂に行く途中に残っていましたが、まわりの木に押されて実をつけていませんでした。当時、食堂の近くのメタセコイヤの木の下枝を私が切っていたら、室野先生から「メタセコイヤは下枝もつけておくのだよ」と言われたのを覚えています。メタセコイヤは立派に育っていましたが、下枝はきれいに切られていました。

私の最初の任地は北海道の北見クリスチャンセンターでした。北海道の東部にある6つの教会の協力宣教師ラマーズ夫妻の寄付によって作られたものです。ラマーズ宣教師は家庭教育に力を入れて活動しておられました。私は月1万五千元で、宣教師は一人500ドルでした。当時1ドルが360円でしたから私から見ると高額でしたが、質素な生活をしていて、十分の一献金を勧めていましたが、自分たちは十分の一ではなくて、半分くらい献げていたように思います。在任中にクリスチャンセンター、リトリートハウス、子どものための遊園地を造って献げていました。結婚については、「わたしたちは愛し合っているの、どちらかが死んで一人になったら、なるべく早く新しい助け手を選んで再婚してほしいと話合っている。」と言われて驚きましたが、90歳過ぎて、二人とも健在で宣教師の老人ホームで暮らしています。

わたしの二度目の任地は明治学院中学校の寮監でした。朝、昼、晩の食事を一緒にとり、入浴の指導をし、午後

7時から9時までの学習時間を見守ることでした。寮で食事が作れない時、給食センターからとった食事で、60人中34人が嘔吐や下痢になったことがありました。保健所も来て調べましたが、ほかでは出ていないこと、菌は何も出なかったことで原因もはっきりしないまま、風邪ということで終わりました。私は明治学院の労働組合に入って、団体交渉にはいつも出ていました。中学での組合員は私一人で他の教職員からは冷ややかな目で見られていましたが、みんなのボーナスを増やしているという自負はありました。

三度目の任地は、雲柱社のともしび保育園でした。保育のことは何も知らないままいきなり園長になりました。園長会では東京都の補助金を増やしてもらおう交渉にたびたび駆り出されました。作戦を練って交渉するのは面白かったのを覚えています。

ちょうど菊田事件（注）があつて、武藤先生の所へ「キリスト教会として、菊田医師を支援すべきではないでしょうか」と言いに行ったところ「君がやりなさい」と言われたので、「菊田医師を支援し、赤ちゃんを救う会」を作り、東京の地方裁判所と高等裁判所の裁判を傍聴しました。同期の新牧師も引き込んで、たくさんの旗や看板やタスキを書いていただきました。特別養子法の制定まで行けたのは嬉しいことでした。国連の「子どもの人権宣言」の中に胎児の人権も入れようとしたのですが、見送られてしまいました。私たちの主張は「生命は神のもの、『殺してはならない』という神の掟の中には胎児も含まれる」と言うものです。菊田医師は最高裁でも負けましたが、最高裁といえども、この日本と言う地域と時代の人間の判断にすぎない。私たちは歴史の審判にゆだねる」と言う敗北宣言を出しました。等々、思い出すことの多さを感謝しています。

（注）1973年4月17日、18日に亘って「石巻新聞」「石巻日日新聞」に“急募 男の赤ちゃんをわが子として育てる方を求む”の小さな広告が掲載されたことに端を発したいわゆる「赤ちゃん斡旋事件」



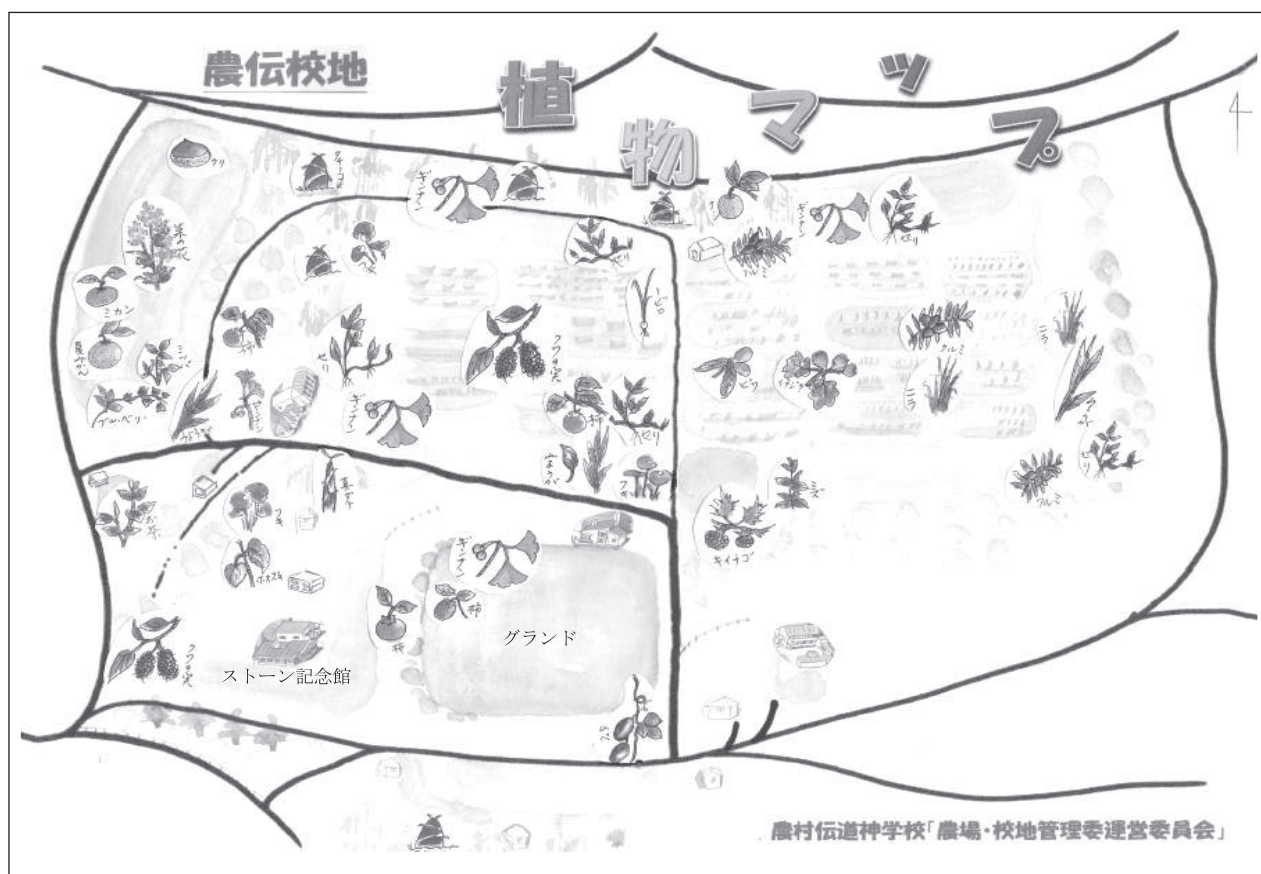
礼拝後出席者と筆者（前列左2人目）



八街西伝道所

NO. 17

農伝では、校長主催の「**農場・校地管理運営委員会(仮)**」を発足しました。これは、農場校地の良好な環境維持と、学校経営への収益賛助を目的とした活動で趣旨に賛同を頂いたボランティアと学校関係者によって構成し活動をスタートしています。事務局はイベント開催時や、ボランティア活動へのご参加を願い後援会から活動を紹介致します。



の実行と定め、活動しています。(次ページに続く)

地 域 校 園

植 物 カ レ ン ダ ー

2017年7月

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	記 事
竹類													
草類													
木の実													

*校地内植物の無断採取を禁止します。(管理育成しています)

「農場・校地管理運営委員会」当面のテーマ

*栗畑の再生

最盛期には40～50本の栗の木に毎年大きな実がつき、シオン幼稚園はじめ、多くの幼稚園、教会の方々の歓声の場となっていました。しかし、いつの頃からか、毎年1本2本と枯れ、2年前に一気に枯れ、今年は数本を残すのみになりました。寿命との診断もあり、とても残念ですがこの栗畑を更に訪れる人の歓声の場とするため、再生を実現することが当面の課題とし相談を重ねています。

*豊富な山野草の鑑賞、収穫、育成

12,000坪の校地には東京（町田市）では余り見掛けなくなった山野草が沢山あります。この山野草を鑑賞するだけではなく、収穫する、味わう、開墾して育てるなどのイベントを開催し皆様にご参加頂けたらと願っています。まず分かる範囲で何処に自生し収穫は何時頃かマップ、カレンダーをつくり、イベントの年間計画をたて、都度皆様への「イベント呼び掛けを！」企画をはかります。

どうぞその折にはご参加下さい。

クリスマスプレゼントを農伝グッズでご計画下さい



グッズリストをお送りします。
農伝事務所までご連絡下さい。
042-735-5775



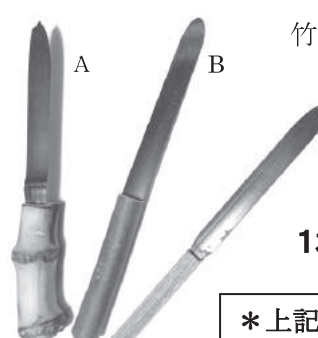
新商品のペーパーナイフです。（全長20～22cm）



1本 500円

すべて農伝材料を使用しています。

①木柄又は、
②竹柄とご指定下さい。



茶杓などに使用するスズ竹を使用した逸品です。

A（竹根柄）又は、
B（木柄）とご指定下さい。

1本 1500円

*上記電話にてご注文下さい。

2017年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2017年6月1日～8月31日 () 内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)	大谷 速子 10,000	田中 靖純 10,000	久米田教会 3,000	小林 利明 3,000	宮本 旻祐 5,000
	岡本 克子 10,000(2)	田中 佑幸 10,000	那須塩原教会 10,000	佐々木英之助・和子 5,000	三輪 清子 3,000
軽井沢追分教会 5,000	加藤久幸・輝勢子 30,000	月本 昭男 10,000	箕面教会 8,000	佐々木五律子 3,000	安井 牧子 2,000
三枝集会 10,000	加藤真規子 10,000	辻 健 10,000	山谷兄弟の家伝道所 3,000	佐藤 節男 10,000	谷津 横子 5,000
下谷教会婦人会 20,000	河原田美哉子 5,000	土井 道子 3,000	合計6件	佐藤 義弘 5,000	山内友子・常行 3,000
代田教会 10,000	菊地 泰 3,000	中江 禮子 5,000	金額 70,618	三宮 千枝 3,000	山田美知子 5,000
日本基督教団石川地区教会婦人会連合 18,800	桑野瑛知子・直義 5,000	成田 昭子 5,000	記念日他献金 (個人)	白鳥吉夫・律子 6,500	山根 吟 5,000
日本基督教団明治学院・東京教区南支区諸教会 25,000	小泉 晴子 3,000	野崎 典子 10,000		鈴木 一宏 5,000	渡辺 重義 5,000
合計6件 金額 88,800	高寺 幸子 5,000	原 誠 5,000	稲益 鉦二 10,000	高島 昭子 2,000	合計51件
	河野 通久 5,000	人見 勝(2) 12,000	上西知子・哲雄 3,000	竹内 忠美 5,000	金額 264,500
後援会献金 (個人)	後藤美紀子 5,000	深澤美知子 2,000	宇高誠・育枝 10,000	竹村 倫子 10,000	ひとつぶ献金
	近藤 淑子 5,000	福澤 益代 5,000	大久保徹夫 5,000	田中和三郎 10,000	
青木 敬和 5,000	近藤 康夫 5,000	福本 光子 10,000	津村有紀子 5,000	辻井武志・嗣子 3,000	生田教会 145,600
浅野 直人 5,000	斎藤仁一・隆子 5,000	藤田 純子 3,000	小原 敏 10,000	鳥島 正明 1,000	追分教会 31,600
足立 守 10,000	佐々木ちじゑ 1,000	本田 栄一 100,000	金木 絹江 3,000	西岡昌一郎 5,000	荻窪教会 49,200
井口 拓人 1,820	佐治弘志・範子 10,000	松田 陽子 30,000	上内 鏡子 2,000	西村保典子 15,000	鶴川北教会 50,000
池田 伯 10,000	嶋貴 春江 3,000	森田 恵子 5,000	狩野登美子 5,000	服部千賀子 5,000	鶴川教会 65,400
井本 克二 10,000	東海林 勤 5,000	柳 和吉 3,000	川崎 トシ 5,000	原島 正 2,000	日本基督教団出版局有志 12,000
岩高 澄 10,000	鈴木 栄 10,000	吉田 功 2,000	北沢 栄 5,000	平田由喜子 10,000	日野台教会 14,500
岩間美佐子 3,000	諏訪 昭子 5,000	渡邊美恵子 5,000	木下 良子 5,000	平良 修 3,000	まぶね教会 7,600
氏原 淳一 5,000	関田 寛雄 10,000	合計62件	吉良 保子 5,000	深澤 正勲 3,000	水元教会 9,000
大浦 邦子 3,000	関本 達也 11,000(2)	金額 533,820	久保 博夫 3,000	福島 明美 3,000	合計9件
大澤 錦一 30,000	芹野 俊郎 2,000	記念日他献金 (団体)	久保 礼子 2,000	堀 秀子 10,000	金額 384,900
	園田 博 3,000		熊谷 トキ 3,000	松本実枝子 3,000	
	高井 好子 5,000	池袋西教会 40,000	小林 節子 5,000	三宅 洗子 5,000	
	高柳めぐみ 5,000	國安先生を囲む会 6,618			
	竹村 倫子 20,000(2)				

事務局だより

◇後援会だより110号をお届け致しました。1ページは、植西光雄牧師にご執筆頂きました。先生は今年7月に農伝で行われた同窓会に久しぶりにご出席されたと書かれています。その時の柿の木の感想を後援会が耳にし、ご無理をお願いして当時のこと(農伝でのこと)から始まる先生の思いを自由にお書き頂きました。ありがとうございました。文章の末尾に先生ご本人の学校へのボランティア参加(老朽化家屋の解体奉仕)、と活動プランなどのご提案頂きました。提案については、学校側へ報告させて頂きました。

◇2～3ページは、農伝12,000坪の校地の得難い自然をどう管理維持し、更にここから如何に収益を得るか、のための「委員会活動」について、その一端をご紹介いたしました。

学校は厳しい経営環境の中で地域の人々、また学校を支えて下さる全ての皆様と学校が共にこの自然の恵みを得て行く方法として、提供(知恵、労働、対価)と享受(環境、産物、鑑賞)による活動を進めて行くこととしています。これらの活動を進めて行く方法として、高額の予算を投入したプランや、専任者雇用などで進めて行

くことでは全く無く、農伝を愛し又は運営をご理解頂き、この環境を愛する方々による提供と享受によって小さく確実に、そして長く継続して行くことを選択しています。前述の植西先生のご提案も正にこのことです。後援会は学校のこの活動を支援し、後援会だよりを通して活動を皆様に報告し、ボランティアへの呼び掛け、イベントのご案内などをさせて頂きます。また通常でも、2ページの植物カレンダー記載の時々鑑賞、有料収穫なども可能ですのでお問い合わせ(事務所)の上是非ご来校下さい。

◇4ページで献金の報告を致します。毎回多くの教会、団体、個人、ひとつぶ献金活動にて学校をお支え頂き感謝致します。年度の中間点、活発な後期学事がスタートします。どうぞ今年度後半も農伝をお支え下さい。末筆になりますが、10月21日(土)恒例の農伝デーがあります。(同時発行の学報に詳細案内があります)後援会もグッズを出店致します。どうぞ声を掛け合い、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

(事務局 古川力也)

2017年度後援会会計報告

2017年4月1日～8月31日現在

収 入 (献金・他)					前年同 期比 (%)
献金区分	2017年度(4月～8月)		前年度同期		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
後援会費(団体)	13	368,800	14	522,066	71
〃(個人)	94	1,565,620	96	585,000	27
記念日他献金(団体)	14	156,618	10	86,368	181
〃(個人)	79	409,500	71	639,700	64
ひとつぶ献金(団体)	12	551,200	10	292,100	189
グッズ		59,250		30,050	196
合 計	212	3,110,988	201	2,155,284	145

発行 農村伝道神学校後援会 会 長 島しづ子 事務局長 古川力也
〒195-0063 東京都町田市野津田町2024
TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
E-メール: noden@pony.ocn.ne.jp
ホームページ: http://www.noden.server-shared.com
郵便振替番号 00120-6-24418